

けやき

第8号

言葉だけがコミュニケーションではない？

向寒の候、朝晩は特に冷え込むようになりましたが、保護者の皆様、生徒の皆さんはお変わりなくお過ごしでしょうか。

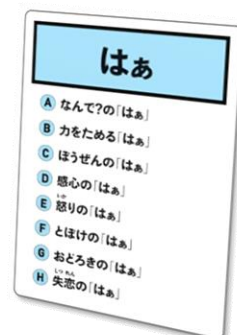
さて、今月のお便りでは、けやき教室で行っている「ノンバーバルコミュニケーション」に関する取り組みについて紹介します。「ノンバーバル」＝「非言語」つまり、言葉以外で行うコミュニケーションのことを指します。具体的には見た目や表情、声のトーンや大きさ、話し方、しぐさ、距離感などが影響します。「コミュニケーションにおいて言語情報の影響力は7%なのに対し、聴覚情報・視覚情報などの非言語情報は93%もの影響力を持つ」という研究結果も発表されています。(メラビアンの法則)

ノンバーバルコミュニケーションのスキルを高めることによって、自分の感情や意見を相手に適切に伝える力や、表情やしぐさから相手の感情や意図を読み取る力が身に付きます。けやき教室では、個々の生徒の特性に応じて個別で自己表現の練習をしたり、小集団活動で仲間たちと関わる活動を実施したりすることで、他者理解の視点やコミュニケーション能力の向上を目指しています。



『はあっていうゲーム』 (久留米中学校)

出題者は「はあ」、「さあ」、「えー」などのセリフを指定されたシチュエーションで演じ分けます。この活動を通して、様々な状況を表情や声に変化をつけながら表現する力や、相手の様子からどのような感情を伝えようとしているのか読み取る力を育みました。



『第一印象ゲーム』 (中央中学校)

写真を見て、その人の第一印象から性格や職業、好みなどを予想します。解答者は班員からの情報をもとに、どの人のことを説明しているのか当てます。共通の印象をもつこともあれば、真逆のこともあり、他者視点の見方、考え方を学ぶための良い機会となりました。



《保護者の皆様へ 面談のご案内》

11月下旬から12月上旬にかけて各校で面談がございます。通常級で行う面談にけやき教室の教員も同席し、2学期の振り返りや今後の利用の仕方についてお話をさせていただきます。詳しい日程につきましては学級担任から配布される書類をご確認ください。

